



さらにグローバルな視点で、 「現在の社会と未来の社会」への 貢献に挑戦

グループミッション

**世界の人々の豊かな生活と
地球環境の未来に貢献する
“Global Kawasaki”**

川崎重工グループは、広汎な領域における高度な総合技術力によって、地球環境との調和を図りながら、豊かで美しい未来社会の形成に向けて、新たな価値を創造します。

川崎重工グループのミッション (社会的使命)

川崎重工グループは、自らの社会的使命を、『世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する』と定めています。私も、当社グループが社会の要請に的確に応えてこのミッションを達成し、すべてのステークホルダーの皆様とともに未来を築いていくことが最も重要であると考えています。

CSRと活動推進体制

本年度、次ページに述べる「川崎重工グループのCSRの考え方」をまとめ、企業活動の各領域における「目指す姿」を描き出しました。また、同じく本年度に策定した「Kawasaki事業ビジョン2020」および「中期経営計画(2010~2012年度)」の中でも、CSRの重視を大きく掲げております。そのため、私が委員長を務める全社CSR委員会のもとに7つの事業部門(カンパニー)と本社部門のCSR委員会を設け、事業や機能ごとに推進すべきことを考える体制としました。各部門が個別に、また相互に連携しながら、「目指す姿」をより高い次元で実現させるための具体的な施策を実施してまいります。

事業と技術の挑戦

社会・経済の環境、および地球環境は急激に変化しており、当社グループが果たしていかなければならない使命、貢献のあり方も、それに伴って変化しています。当社グループは、これまでも一世紀を超えて社会の変化に対応してきましたが、今後はより一層、「変化から生じる社会の課題」を解決するため、事業と技術の革新を実現していきます。たとえば、「既存の化石燃料に替わるエネルギー源の必要性の高まり」と「低炭素社会のさらなる進展」という変化に対して、当社グループは将来に向けCO₂フリーの水素エネルギーを提案しようとしています(詳しくは19ページ、20ページをご覧ください)。

会社創設以来、輸送用機器・システム、エネルギー環境、産業機器などの事業分野で蓄積してきた技術力を活かして組織としての総合力を発揮し、さらにグローバルな視点で、お客様および「現在の社会と未来の社会」への貢献に挑戦したいと思います。

企業としての社会的責任

私は、川崎重工グループのミッションは、事業そのものによる社会への貢献に加え、あらゆる企業活動の局面においてステークホルダーに対する責任を意識して行動することと考えています。そのためには、健全で透明性の高い企業経営を実践することはもちろん、社会からの要請や、社会の変化に対する感受性を組織的に高めていくことが重要です。

企業として行っているあらゆる活動が、社会と当社自身の双方に資するものとなるよう、バランスの取れた舵取りを行っていきます。特に、事業のグローバル化が急速に進展する中、当社の関わる国々の文化を尊重しつつ、各国の物質的な豊かさや心の豊かさが同時に実現できるよう、全力を尽くしていきたいと思っています。

さらなるCSRの展開へ ~CSR報告書の発行~

川崎重工グループは、1999年より「環境報告書」を、2006年より「環境・社会報告書」を発行してきました。今年度より、CSRの重要性に対する当社の認識と活動をあらゆるステークホルダーの皆様にご理解いただくために、新たに「CSR報告書」として発行致しました。是非Webページと合わせてご覧ください。

今後ともCSR活動を推進してまいりますので、引き続きご支援・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

川崎重工業株式会社
取締役社長

長谷川 聡